

【北海道札幌市】【北海道労働局、ハローワーク札幌（ハローワークプラザ札幌）】 「待機児童解消」に向けて市とハローワークがセミナー等を実施

【目的】

札幌市の待機児童解消に向け、保育士希望者の学生や潜在保育士などを対象に、札幌市内の保育施設への就職意識を喚起し、待機児童解消に必要となる保育士の確保を図る。

市と国が同じ「待機児童解消」という目標に向けそれぞれの強み（※）を共有することで、効果的な事業を実施

※市の強み：私立保育園連盟・市内保育士養成学校とのつながり（効果的な広報等が可能）、待機児童数等の情報
国の強み：ハローワークによる専門的な職業相談・職業紹介、保育士等の職種別状況の把握

【実施概要】

会場内の各ブースにて保育の仕事で役立つ情報の提供・セミナーの実施

- 最新の『乳児保育』の体験コーナー
- 最新の『幼児保育』の体験コーナー
- 若手保育士による対話セミナー
- 園長先生からのアドバイスセミナー
- 働くために必要な知識や制度、マナーを知るためのセミナー
- 保育士のためのメイクアップセミナー

- ☞ ハローワークが職業相談コーナーを設置することで、具体的な就職に向けての準備が可能！
- ☞ ハローワークが行う「適職選択セミナー」や「採用の視点セミナー」等も案内し、適宜誘導を図り、幅広いセミナーを受けることが可能！
- ☞ セミナーにおいて、求職者に対しハローワークの「福祉人材コーナー（福祉分野の支援を重点的に行う相談窓口）」の周知を図ることで、個別支援につなげることが可能！

【役割分担】

【札幌市】

- ◆会場手配（費用負担は労働局と折半）
- ◆市の広報誌における周知
- ◆市内保育士養成校への周知

【労働局・ハローワーク】

- ◆リーフレット作成
- ◆職業相談コーナーの設置
- ◆各個別セミナーの内容調整
- ◆セミナー開催に係る全体調整

【効果】

- ◆ 平成27年6月14日（日）に開催し、143名が来場。
- ◆ 体験セミナーを設けることにより、保育士の魅力をより伝えることができ、保育所への就職に向けての意欲の向上につなげることができた。
- ◆ 札幌市と連携することで幅広い広報が実施できた。



＜札幌市コメント＞

昨年度より開始した当セミナーは、今年度143名が来場し、アンケートでは約8割の方から次年度の開催を望むなど、大変有意義な取組であると考える。

＜労働局コメント＞

「待機児童解消」という目標を共有することで、市と国が同じ方向に向かって取組を実施することができた。

当該セミナー以外にも面接会を共催しているが、目標に資する連携策を今後も考えていきたい。